

問題 I

次の本文を読み、空欄 (1) (2) から (31) (32) に入る最も適切な語句を語群より選び、その番号をマークシート解答用紙の所定の欄にマークしなさい。また、下線部 (ア) から (エ) に関連する設問 1 から 4 について、それぞれの指示に従って番号を選び、マークシート解答用紙の (33) (34) から (39) (40) にマークしなさい。なお、各史料の原文は、適宜改めてある。

日本が近代国家を目指して欧米諸国に門戸を開くと、領土確定が急務となり、周辺諸島の帰属を明確化していった。日本の領土に関わる問題の歴史と背景をふりかえてみよう。

〈1〉 北方四島を含む蝦夷地には、もともと先住民族アイヌが暮らしていた。アイヌは漁労・狩猟や交易を生業としていて、和人とも交易をおこなった。和人が進出するとしだいにアイヌを圧迫し、將軍 (1) (2) のときにはコシャマインが蜂起したが、制圧された。後年起こった反乱も制圧され、アイヌは松前藩に服従させられることになる。

ロシアの南下にともない、幕府はたびたび来航するロシア船への対応に苦慮していた。ロシア船 (3) (4) 号の艦長が国後島に上陸して捕えられると、同号の副艦長が国後島付近で高田屋嘉兵衛を捕えるなど、日露間で問題が生じた。

日露通好条約が画定した国境では、北方四島は日本側に含まれていた。日本側特命全権公使 (5) (6) が締結した樺太・千島交換条約によって、樺太はロシア領に、(7) (8) 島を北端とする千島列島は日本領になった。本条約に基づいて樺太・千島に住むアイヌは日露いずれかに属することが強制され、^(ア)同化政策により、アイヌ固有の文化が失われていった。

ポーツマス条約では南樺太が日本に割譲されたが、1920年 (9) (10) で日本人住民と日本兵がゲリラ部隊に殺害された事件を契機に、日本は北樺太を占領し、後に日ソ基本条約にともない北樺太からは撤兵した。1945年8月に対日参戦したソ連は国境を越え、北方四島までも占領した。

〈2〉 尖閣諸島は、^(イ)日清戦争の最中に、閣議決定によって沖縄県に編入された。日清戦争は、日本が「^(ウ)条約に依り兵を出して変に備へしめ、更に朝鮮をして禍乱を永遠に免れ治安を将来に保たしめ、以て東洋全局の平和を維持せむ」としたが、清はこれを拒んだため、開始された（「日清戦争の宣戦詔書」）。日本は琉球藩を廃して沖縄県を設置していたものの、清は日本の沖縄領有を認めなかった。この対立を調停するため、前アメリカ大統領が (11) (12) を清の領有とする案を出したが不成立に終わり、沖縄が日本領として確定するのは日清戦争勝利後であった。

日清講和条約で日本に割譲された台湾では、島民が日本領有に反対して台湾民主国を樹立した。日本は台湾総督府を設置し、島民の頑強な抵抗を武力で鎮圧した。第4代総督 (13) (14) のときには土地調査事業に着手し、製糖会社を設立するなど産業の振興をはかった。キリスト教徒である (15) (16) はその著書『帝国主義下の台湾』の序文で「私は虐げらるゝものの解放、沈めるものの向上、而して自主独立なるものの平和的結合の実現をば衷心仰望するものである」と述べ、植民政策を実証的に分析した。

第二次世界大戦後アメリカの施政権下にあった沖縄の日本復帰運動が高まると、1967年に日本の首相とアメリカ大統領 (17) (18) が数年内に沖縄返還の時期について合意すべきであるとの意見を交換した。沖縄返還協定によって尖閣諸島を含む南西諸島が日本に返還され、同協定が署名された年に中華人民共和国は尖閣諸島の領有権を公式に主張し始めた。

〈3〉 竹島は日露戦争の最中に、^(エ)閣議決定によって島根県に編入された。日露戦争は日本が (19) (20) と (21) (22) を奇襲攻撃して始まった。開戦前、日本の言論界は非戦論と開戦論で対立していた。内村鑑三は『 (23) (24) 』への寄稿の中で「余は日露非開戦論者である許りではない、戦争絶対的廃止論者である。戦争は人を殺すことである。爾うして人を殺すことは大罪悪である」と記した。

日露戦争勝利後、日本は大韓帝国に統監府を設置し、着々と植民地化を進めた。初代統監を暗殺した安重根は (21) (22) 監獄で『東洋平和論』を記し、西洋帝国主義への対抗のためには東洋の連帯が必要であると述べた。

日本がロシアに勝利したことはアジア各地で独立や近代化をめざす人々にも大きな影響を与え、日本への留学を奨励する東遊運動が起こったが、この運動は1907年 (25) (26) 締結の影響もあり、留学生の国外退去という結末を迎えた。

朝鮮半島では三・一独立運動が起こり、独立運動家らは、南京条約で開港された都市である (27) (28) にて大韓民国臨時政府を結成した。第二次世界大戦中には、英・米・中の首脳による (29) (30) 会談で朝鮮の独立が言及された。戦後、大韓民国の当時の大統領 (31) (32) が竹島を自国側にとりこんだことから竹島問題が顕在化した。

〔設問1〕

下線部（ア）に関して、アイヌ語で語り継がれた神話をローマ字で表記し日本語訳を添えて『アイヌ神謡集』をまとめた人物の名前を語群より選び、その番号を (33) (34) にマークしなさい。

〔設問2〕

下線部（イ）で起きた出来事を時系列に並べたものを以下の [01] から [08] のなかより選び、その番号を (35) (36) にマークしなさい。

(a) 黄海海戦 (b) 豊島沖海戦 (c) 大連占領 (d) 威海衛占領

[01] (a)-(b)-(c)-(d) [02] (a)-(b)-(d)-(c) [03] (a)-(c)-(b)-(d) [04] (a)-(d)-(b)-(c)
[05] (b)-(a)-(c)-(d) [06] (b)-(a)-(d)-(c) [07] (b)-(c)-(a)-(d) [08] (b)-(d)-(a)-(c)

〔設問3〕

下線部（ウ）が指す条約名として適切なものを語群より選び、その番号を (37) (38) にマークしなさい。

〔設問4〕

下線部（エ）はどの間の出来事か、以下の [01] から [04] のなかより選び、その番号を (39) (40) にマークしなさい。

日韓議定書 — [01] — 第1次日韓協約 — [02] — 日本海海戦 — [03] — 第2次日韓協約 — [04] — 第3次日韓協約

〔語群〕

- | | | | | |
|---------------|-------------|--------------|---------------|-------------|
| 01. L. ジョンソン | 02. アイゼンハワー | 03. 青木周蔵 | 04. 足利義教 | 05. 足利義尚 |
| 06. 足利義政 | 07. 足利義持 | 08. 奄美三島 | 09. 硫黄島 | 10. 李承晩 |
| 11. 井上毅 | 12. 遼星北斗 | 13. イルクーツク | 14. 仁川 | 15. 元山 |
| 16. ウラジヴォストーク | 17. 得撫 | 18. 択捉 | 19. 榎本武揚 | 20. 海老名弾正 |
| 21. 大阪毎日新聞 | 22. 小笠原諸島 | 23. カイロ | 24. 桂・タフト協定 | 25. 樺山資紀 |
| 26. 漢城条約 | 27. 金大中 | 28. ケネディ | 29. 江華条約 | 30. 杭州 |
| 31. 国民新聞 | 32. 児玉源太郎 | 33. 後藤新平 | 34. 小村寿太郎 | 35. 濟物浦条約 |
| 36. 先島諸島 | 37. 沙市 | 38. サスケハナ | 39. 新知 | 40. 上海 |
| 41. 占守 | 42. 蘇州 | 43. 大西洋 | 44. 第2次日英同盟協約 | 45. 第2次日露協約 |
| 46. 武隈徳三郎 | 47. 長春 | 48. 全斗煥 | 49. 知里幸恵 | 50. 鎮海 |
| 51. 青島 | 52. ディアナ | 53. テヘラン | 54. 田健治郎 | 55. 天津条約 |
| 56. 東京朝日新聞 | 57. 南原繁 | 58. ニクソン | 59. ニコラエフスク | 60. 日仏協約 |
| 61. 新渡戸稲造 | 62. 朴正熙 | 63. バチエラー八重子 | 64. ハバロフスク | 65. ハルビン |
| 66. フェートン | 67. 釜山 | 68. 平民新聞 | 69. 奉天 | 70. ポツダム |
| 71. 陸奥宗光 | 72. モリソン | 73. 矢内原忠雄 | 74. ヤルタ | 75. 万朝報 |
| 76. 旅順 | | | | |

問題 II

近現代の日本の政党政治に関する以下の史料 A から D を読み、設問 1 から 20 について、それぞれの指示に従って番号を選び、マークシート解答用紙の所定の欄にマークしなさい。

なお、各史料の原文は、適宜改めてある。また、(k)、(e)、(i)、(o) は、問題の作成上あえて伏せ字にしている。

史料 A

今般憲法発布式を挙行ありて、大日本帝国憲法及之に附随する諸法令を公布せられたり。謹て惟ふに、明治十四年十月詔を下して二十三年を期し国会を開く旨を宣言せられ、^(ア)爾来政府は孜孜として立憲設備の事を務め、昨年四月枢密院設立の後には直に憲法及諸法令の草案を同院に下され、会議毎に (k) 臨御まし、深く宸慮を尽し親しく裁定あらせられたり。叡旨の帰する所を要するに、益々我国体の本源に基き祖宗の遺訓に遵ひ、永遠の基業を定めて則を後昆に垂れ、国本を鞏固にして衆庶と福祉を共にするに在り。……

^(イ)帝国議会は明年を以て開設せらるへし。凡そ我臣民たる者誰か公権を優重せられ公議を伸暢せらるゝ (k) 無疆の恩徳を欽仰せざらんや。議会開設の時に至り議員の選に当る者は、各忠実の誠を尽して国事に参預し、上下和融の美を成し、以て慈仁の旨に奉答せんこと今より切に望む所なり。若し奔競浮躁徒に紛擾を事とし議会の体面を損し、自ら其信用を公衆に失ふか如きことあらは、遂に立憲の盛意を曠くするに至らん。地方牧民の責に当る各員意を加へて誘導啓発あらんことを欲するなり。

^(ウ)憲法は敢て臣民の一致を容るゝ所に非るは勿論なり。唯た施政上の意見は人々其所説を異にし、其合同する者相投して団結をなし所謂政党なる者の社会に存立するは亦情勢の免れざる所なり。然れども政府は常に一定の方向を取り、超然として政党の外に立ち至公至正の道に居らざる可らず。各員宜く意を此に留め、不偏不党の心を以て人民に臨み、撫馭宜きを得、以て国家隆盛の治を助けんことを勉むべきなり。

〔設問 1〕

史料 A は当時の首相による演説文である。その人物に関する説明として適切なものを以下の [01] から [05] のなかより選び、その番号を解答欄 (41) (42) にマークしなさい。

- [01] 旧長州藩出身の政治家であり、参議、開拓長官、陸軍大臣などを歴任して首相となった。
- [02] 松方正義や桂太郎などを入閣させ、「元勳総出」とも称される内閣を組織した。
- [03] 第 1 回衆議院議員総選挙において、民党に対し、大規模な選挙干渉を行った。
- [04] 第 1 回帝国議会では、民党の激しい抵抗に直面するものの、立憲自由党の一部を切り崩して予算を成立させた。
- [05] 条約改正交渉にあたっていた大隈重信外相が反対派の襲撃により負傷し、首相の職を辞した。

〔設問 2〕

大日本帝国憲法に明記されている (k) に関する内容についての説明として適切なものを以下の [01] から [05] のなかより選び、その番号を解答欄 (43) (44) にマークしなさい。

- [01] 皇位は男系男子によって継承されることやその継承順位が示された。
- [02] 憲法の条規にかかわらず統治権を行使するとされた。
- [03] 陸・海軍大臣の助言を受けて陸海軍を統帥するとされた。
- [04] 帝国議會を召集するとともに、両議院の解散を命じることができるとされた。
- [05] 議會閉会中に緊急勅令を発することができるとされた。

〔設問 3〕

下線部 (ア) に関して、国会開設の勅諭が発せられて以降の政府の取組みとして適切でないものを以下の [01] から [05] のなかより選び、その番号を解答欄 (45) (46) にマークしなさい。

- [01] 大審院の設置
- [02] 市制・町村制の制定
- [03] 保安条例の制定
- [04] 内閣制度の発足
- [05] 制度取調局の設置

〔設問 4〕

下線部 (イ) に関して、帝国議會について説明した文章として適切なものを以下の [01] から [05] のなかより選び、その番号を解答欄 (47) (48) にマークしなさい。

- [01] 帝国議會の開設に伴い、それまで立法機能を有していた左院は廃止された。
- [02] 帝国議會は貴族院と衆議院から構成され、貴族院議員になるには爵位を有していなければならなかった。
- [03] 帝国議會は協賛機関にすぎず、内閣はその同意を得ることができない場合でも法律や予算を制定することができた。
- [04] 大日本帝国憲法はいわゆる欽定憲法であるが、それを改正するには帝国議會の議決を必要とした。
- [05] 帝国議會の開設以降、首相に就任するには両議院のいずれかに議席を有することが要件とされた。

〔設問 5〕

下線部 (ウ) に関して、大日本帝国憲法において臣民の権利として定められていないものを以下の [01] から [05] のなかより選び、その番号を解答欄 (49) (50) にマークしなさい。

- [01] 信教の自由
- [02] 生存権
- [03] 居住および移転の自由
- [04] 言論・著作印行・集会および結社の自由
- [05] 所有権

(エ) 帝国憲法の施設既に十年を経て、其効果見るべきものありと雖も、輿論を指導して善く国政の進行に貢献せしむる所以に至りては、其道未だ全く備らざるものあり、即ち各政党の言動或は憲法の既に定めたる原則と相扞格するの病に陥り、或は国務を以て党派の私に殉ずるの弊を致し、或は宇内の大勢に対する維新の宏謨と相容れざるの陋を形し、外帝国の光輝を掲げ、内国民の倚信を繋ぐに於て多く遺憾あるを免れざるは、(e) の久しく以て憂としたる所なり、……。

抑 (X) の任免は憲法上の大権に属し、其簡拔択用或は政党员よりし或は党外の士を以てす、皆元首の自由意志に存す、而して其己に挙げられて輔弼の職に就き献替の事を行ふや党员政友と雖も決して外より之に溶喙するを許さず、苟も此の本義を明にせざらむ乎、或は政機の運用を誤り、或は権力の争奪に流れ、其害言ふべからざるものあらんとす、予は同志を集むるに於て全く此の弊竇の外に超立せしむることを期す、凡そ政党の国家に対するや其全力を挙げ一意公に奉ずるを以て任とせざるべからず、凡そ行政を刷新して以て国運の興隆に伴はしめんとせば、(オ) 一定の資格を設け、党の内外を問ふことなく、博く適當の学識経験を備ふる人才を収めざるべからず。……

政党にして国民の指導たらんと欲せば、先づ自ら戒飭して其紀律を明にし其秩序を整へ専ら奉公の誠を以て事に従はざるべからず、(e) 竊に自ら揣らず、同志と (i) を設け以て党派の宿弊を革めむことを企つるもの、区々の心聊か帝国憲政の将来に裨補して報効を万一に希図せむとするに外ならず、……。

〔設問 6〕

史料Bは首相経験者の (e) によって発表された新政党 (i) の設立趣旨である。(e) に関する説明として適切なものを以下の [01] から [05] のなかより選び、その番号を解答欄 (51) (52) にマークしなさい。

- [01] 大久保利通や井上馨らとともに副使として岩倉使節団に参加した。
- [02] 立憲帝政党を立ち上げて立憲改進黨に対抗した。
- [03] 日清戦争後に板垣退助を内相に迎え、自由党と連携した。
- [04] 満州における日本の権益と内蒙古におけるロシアの権益を相互に確認するという日露協商論を唱えて、日英同盟論と対立した。
- [05] 元老として、西園寺公望や原敬を首相に奏薦し、それぞれを首班とする内閣を成立させた。

〔設問 7〕

下線部 (エ) に関して、大日本帝国憲法の発布から (i) の設立までの間に結成された政党として 適切でないもの を以下の [01] から [05] のなかより選び、その番号を解答欄 (53) (54) にマークしなさい。

- [01] 憲政本党
- [02] 憲政党
- [03] 立憲自由党
- [04] 立憲国民党
- [05] 進歩党

〔設問 8〕

空欄 にあたる役職として適切なものを以下の [01] から [05] のなかより選び、その番号を解答欄

にマークしなさい。

- [01] 太政官
- [02] 裁判官
- [03] 太政大臣
- [04] 知事
- [05] 国務大臣

〔設問 9〕

下線部（オ）に関して、 が設立された当時の官吏についての説明として適切でないものを以下の [01] から [05] のなかより選び、その番号を解答欄 にマークしなさい。

- [01] 文官任用令が改正され、各省の次官などの高級官吏の任用資格規定が削除されていた。
- [02] 軍部大臣現役武官制が定められ、現役の大將・中將以外は陸・海軍大臣に就任することができなくなっていた。
- [03] 文官懲戒令が定められ、文官の懲戒の事由や種類が限定されていた。
- [04] 上級官吏登用試験として、文官高等試験が導入されていた。
- [05] 文官分限令が定められ、文官の身分や職務が保障され、政権交代などで官吏がみだりに免官されないようになっていた。

〔設問10〕

に関する説明として適切なものを以下の [01] から [05] のなかより選び、その番号を解答欄

にマークしなさい。

- [01] は隈板内閣の与党として政権を支えたが、内紛により短期間のうちに分裂した。
- [02] 結党以来、普通選挙の実現を追求し、 の総裁が首相のときに普通選挙法が成立した。
- [03] 大正初期に「憲政の常道」といわれる政権授受の慣行を確立した は、議院内閣制の法定化に寄与した。
- [04] ロンドン海軍軍備制限条約の締結の際、 は当時の内閣が統帥権を干犯したと批判した。
- [05] に所属した斎藤隆夫は軍部が台頭するなか、帝国議会で肅軍演説や反軍演説を行い、衆議院において除名処分となった。

小党互いに分立して、政治が常に安定いたしませんことが、国家国民にとっていかに不幸であるかは、私が今さらあらためて申すまでもございせん。しかるに、終戦このかた10年の年月をけみしたのでありますが、そのわずかの間に政変が11回にも上り、^(㉗)総選挙もすでに6回を数え、しかもなお政局安定の徴候を見ることができないのであります。

翻ってみますに、この間経済は徐々に復興し、国力は日増しに回復し、自主独立の実は日を追うてあがって参ってはおりますけれども、民生の安定、^(㉘)占領諸政治の行き過ぎの是正、国交の回復あるいは貿易の伸長等、内に外になお解決を要する案件はきわめて多いのであります。

しかもこのことは、安定した政局のもとに、清新にして強力な政権の樹立なくしてはどうてい望みがたいことは、皆様御了承の通りであります。過半数を占めない少数党内閣がいかに無力にして国民の期待にそい得ないかは第五次吉田内閣においてもわれわれがすでに痛感いたしたところであり、また過般の国会を通じて今日の与党 の諸君もおそらくは痛感せられたところであろうと考えます。

このゆえに、わが党といたしましては、さきに昨年の4月、保守合同の党議を決定いたしまして、声明を発して以来、一貫してその急務なるゆえんを提唱して参ったのであります。不幸その実現を見ることなくして野に下ったのでありますが、いま立場をかえて、^(㉙)今度は からの呼びかけによりわれわれがこれに呼応いたしまして、ここに相携えてその実現に努力しつつあることは、国家国民のためにまことに慶賀の至りであります……。

〔設問11〕

史料Cはある政党の総裁による演説文である。その政党が政権を担当していた期間中の出来事に関する説明として適切なものを以下の〔01〕から〔05〕のなかより選び、その番号を解答欄 にマークしなさい。

- 〔01〕 第1回原水爆禁止世界大会が開催された。
- 〔02〕 日米地位協定が締結された。
- 〔03〕 アジア＝アフリカ会議が開催された。
- 〔04〕 日華平和条約が締結された。
- 〔05〕 ワルシャワ条約機構が成立した。

〔設問12〕

空欄 にあたる政党名として適切なものを以下の〔01〕から〔05〕のなかより選び、その番号を解答欄 にマークしなさい。

- 〔01〕 自由党
- 〔02〕 民主自由党
- 〔03〕 日本進歩党
- 〔04〕 日本民主党
- 〔05〕 国民協同党

〔設問13〕

下線部（カ）に関して、当該期間の総選挙についての説明として適切なものを以下の〔01〕から〔05〕のなかより選び、その番号を解答欄

(65)	(66)
------	------

 にマークしなさい。

- 〔01〕 1946年4月の総選挙の結果、女性が初めて帝国議会の議席を得た。
- 〔02〕 1947年4月の総選挙の結果、日本社会党が過半数の議席を獲得し、委員長の片山哲が日本社会党による単独内閣を組織した。
- 〔03〕 1949年1月の総選挙の結果、第1次吉田茂内閣が成立した。
- 〔04〕 1953年4月の総選挙の結果、鳩山一郎が吉田茂に代わって首相に就任した。
- 〔05〕 1955年2月の総選挙の結果、再統一を果たした日本社会党が第1党になった。

〔設問14〕

下線部（キ）に関して、以下のGHQによる占領政策を古い順に並べたとき、3番目にくるものの番号を解答欄

(67)	(68)
------	------

 にマークしなさい。

- 〔01〕 警察予備隊令の公布
- 〔02〕 神道指令の発令
- 〔03〕 政令201号の公布
- 〔04〕 二・一ゼネストの中止命令
- 〔05〕 人権指令の発令

〔設問15〕

下線部（ク）によって結成された政党に関する説明として適切なものを以下の〔01〕から〔05〕のなかより選び、その番号を解答欄

(69)	(70)
------	------

 にマークしなさい。

- 〔01〕 結党時、衆議院における議席はその3分の2を超えた。
- 〔02〕 政権担当時、再軍備の一環として、陸・海・空の3隊からなる自衛隊を発足させた。
- 〔03〕 初めて政権を失うまでの間、一貫して両議院で過半数の議席を保持した。
- 〔04〕 1993年7月の総選挙の結果、過半数の議席を失うものの、その数は日本社会党を上回った。
- 〔05〕 1994年には村山富市内閣の与党として政権に復帰したが、それ以降は他党と連立政権を構成し、2000年代からは公明党も連立に加わった。

我々は、……総理から、 問題等を契機とする国民の政治不信が高まりをみせる中で、当面の問題への対応とともに、中長期的展望に立った政治改革の理念と改革の方向について検討するよう要請を受けた。……

(ケ) 問題のような不祥事を二度と起こさないようにするためには、非公開株式の取引、パーティ券の購入等に係る問題点を是正するにとどまらず、政治資金の公私の区分の徹底と収支の透明性の確保が必要である。……

上記の改革に加えて、健全な ^(ウ) 議会制民主主義の原点に立ち帰り、国民の期待に応える政治を実現しうる政治制度を確立することが不可欠である。……なお、来年秋には国会開設百年を迎えるので、その時点までに具体的な改革が逐次実現されることを希望する。……

同時に、国民が期待している政治改革は、選挙制度や政治資金制度等、いわゆる政治制度そのものを改革することにとどまらず、国民福祉の向上や ^(エ) 国際社会への貢献等を図る政治の実現であることを忘れてはならない。……

総理は、このたび、総理大臣を辞任する決意を表明されたところであるが、我々はこの決断は、 問題に対し一つのけじめをつけられたものと考える。

しかしながら、この提言に沿って政治改革を緒につけることこそけじめと考えられるので、政治の最高責任者として、

総理が国民に対し今後の政治改革についての筋道を早急に示される……ことを希望する。

〔設問16〕

史料Dは当時の首相である に提出された政治改革に関する有識者会議の提言である。空欄 にあたる人物名として適切なものを以下の〔01〕から〔05〕のなかより選び、その番号を解答欄 にマークしなさい。

- 〔01〕 田中角栄
- 〔02〕 海部俊樹
- 〔03〕 三木武夫
- 〔04〕 福田赳夫
- 〔05〕 竹下登

〔設問17〕

下線部（ケ）に関して、 問題発覚以降の以下の出来事を古い順に並べたとき、3番目にくるものの番号を解答欄 にマークしなさい。

- 〔01〕 湾岸戦争が勃発し、日本は多国籍軍に資金援助を行った。
- 〔02〕 政党助成制度が創設された。
- 〔03〕 宇野宗佑内閣のもとで実施された参議院議員選挙において自由民主党が大敗し、同内閣は総辞職した。
- 〔04〕 衆議院において宮沢喜一内閣に対する不信任決議案が可決された。
- 〔05〕 東京佐川急便から政治家への献金が明らかになり、金丸信が自由民主党副総裁の職を辞した。

〔設問18〕

下線部(コ)に関して、第二次世界大戦後の国会に関する説明として適切なものを以下の〔01〕から〔05〕のなかより選び、その番号を解答欄

(75)	(76)
------	------

 にマークしなさい。

- 〔01〕 国会議事堂は東京大空襲で全焼したため、戦後直後に再建された。
- 〔02〕 日本国憲法のもとでも二院制は維持されたが、マッカーサー草案（GHQ草案）では当初、一院制とされていた。
- 〔03〕 東久邇宮稔彦王は国会の指名に基づいて戦後初の首相に就任した。
- 〔04〕 鳩山一郎首相は憲法改正をめざして国会に憲法審査会を設置した。
- 〔05〕 岸信介首相は安保改定にあたり、参議院において条約締結の承認を求める採決を強行し、新安保条約を発効させた。

〔設問19〕

下線部(サ)に関して、自衛隊がPKOで派遣された国・地域として適切でないものを以下の〔01〕から〔05〕のなかより選び、その番号を解答欄

(77)	(78)
------	------

 にマークしなさい。

- 〔01〕 ゴラン高原
- 〔02〕 モザンビーク
- 〔03〕 カンボジア
- 〔04〕 東ティモール
- 〔05〕 ペルシア湾

〔設問20〕

史料Dが提出された後の政治改革に向けた動きに関する説明として適切なものを以下の〔01〕から〔05〕のなかより選び、その番号を解答欄

(79)	(80)
------	------

 にマークしなさい。

- 〔01〕 自由民主党を離党した小沢一郎や細川護熙によって新生党が結党された。
- 〔02〕 国会で自由民主党を除く全ての会派が連立して細川護熙内閣を成立させた。
- 〔03〕 日本社会党は細川護熙内閣の与党であったが、その後を受けた羽田孜内閣では野党に転じた。
- 〔04〕 衆議院に小選挙区比例代表並立制が導入された当初、小選挙区から選出される議員と比例代表区から選出される議員はほぼ同数であった。
- 〔05〕 小選挙区比例代表並立制下での最初の総選挙の結果、民主党が新進党に代わって最大野党になった。

問題Ⅲ

史料AからCは、ある人物 (X) によって書かれた文献で、史料Aは詩、碑文、上表、啓、書簡、願文などが収められている漢詩文集、史料Bは同時代に活躍した僧侶に対する返書、史料Cは仏・儒・道を比較した物語形式の書である。また、史料DとEは、 (X) の生涯と事績の一部が記されたものである。

史料AからEを読み、 (X) が開いた宗教の名称とその特徴を簡潔に述べた上で、この宗教と朝廷の関係について、200字以内で説明しなさい。解答は記述式解答用紙の所定の欄に書きなさい。

なお、各史料の原文は、適宜改めてある。

史料A

国家の奉^{おんため}為に修法^{へう}せんと請ふ表

沙門 (X) 言^{まう}す。 (X) 、幸^{さいひ}に先帝の造雨^{ぼく}に沐^{たまたま}して、遠く海西に遊ぶ。儼^{たまたま}灌頂^{くわんぢやう} (注1) の道場に入つて、一百余部の金剛乗の法門を授けらるること得たり。……宮中に長生殿 (注2) を捨て内道場 (注3) とす。復七日毎に解念誦^{げねんじゆ}の僧 (注4) 等をして持念^{じねん}脩^{しゆ}行^{ぎやう}せしむ。城中城外に鎮国念誦^{せいちゆうせいきわい}の道場を建つ。仏国 (注5) の風範、復是の如し。其の将^もて来たる所の経法の中に仁王経・守護国界主経・仏母明王経等の念誦の法門有り。仏、国王の為^{こと}に特に此の経を説きたまふ。七難^{さいめつ}を摧滅^{しいし}し四時を調和し、国を護り、家を護り、己^{おのれ}を安むじ、他を安むず。此の道の秘妙の典なり。

(注1) 香水を受者の頭に注ぐ儀式。

(注2) 唐代の離宮にあった建物の名称で、ここでは世俗の象徴。

(注3) 仏事を行う宮中内の建物。

(注4) 仏教の教理を解し、修法に通じている僧。

(注5) インド。

史料B

風信^{ふうしん}雲書^{うんしよ} (注1)、天より翔臨^{しやうりん}す。之を披^ひき之を聞^きするに、雲霧を掲げたらむが如し (注2)。

(注1) 「風信」も「雲書」も書簡のこと。

(注2) 心が晴れやかになること。

史料C

ここに亀毛公 (注1) 等一たびは懼^{おそ}ぢ、一たびは辱^はぢ、且^{また}は哀^{あは}しび、且^{また}は笑ふ。舌に任せて俯仰^{こふ}し、音を逐つて方円なり。喜歓踊躍して称して曰く、「吾等幸^{さいひ}に優曇^{うどん}の大阿闍梨 (注2) に遇ひたてまつつて、厚^{しゆつせ}く出世^{さいく}の最訓^{ぼく}に沐^ふす。(注3) ……彼の周孔^{しうく}・老・莊の教 (注4)、何ぞ其れ偏膚^{へんぷ} (注5) なるや。今より以後、皮を剥いで紙とし、骨を折つて毫に造り、血を刺^さいて鉛^{すみ}に代へ、髒^{かばね}を曝^{さら}して研^{すずり}に用ゐて敬^{つつし}むで大和上の慈誨^{だいくわしやう}を銘^{しく}して (注6)、生^{しやう}生^{じやう}の航路^{かうろ}に充てむ」。

(注1) 登場人物の亀毛先生、儒教を支持する儒者。

(注2) 希有の大師。

(注3) 「出世」は、出世間の略で、仏道に入ること。ここでは転じて仏法の教えで、その教えを受けること。

(注4) 周孔は儒教、老・莊は老子、莊子の教えのこと。

(注5) 偏小で浅薄なこと。

(注6) 慈しみある教えを心に刻むこと。

史料D

ここに廿の年に及んで剃髪して沙弥戒(注1)を受け、仏像に対して誓つていはく、「我、仏道に入りて、毎に要を知らんと求む。三乗・五乗・十二部、心の裏に疑ひありて、未だもつて決をなさず。仰ぎ願はくは、諸仏、我に至極を示したまへ」と。一心に祈請するに、夢に人ありていはく、「『大毗盧遮那經』(注2)、これ汝が求むるところなり」と。すなはち覺悟して歡喜す。一部を求め得て、帙を披いて遍く覽るに、凡情、滯りあり、質し問ふにところなし。

更に発願をなして、入唐學習せんとす。……命を銜んで渡海す。すなわち上都(注3)、長安青龍寺の内供奉(注4)大徳、恵果阿闍梨(注5)に遇ひて、五部灌頂に沐し、胎藏金剛界兩部秘奥の法を学す。……大同二年をもつて、我が上国に歸る。茲より已降、帝、四朝を経て、国家の奉為に壇を建て、法を修すること五十一度、風を息め、雨を降し、靈驗その数あり、上、一人より、下、四民に至るまで、灌頂を授けらるる者、けだしもつて数万人なり。

(注1) 見習いの徒弟僧が、剃髪して出家する際に受ける戒め。

(注2) 「大日經」ともいう。

(注3) 天子の都。

(注4) 宮廷の内道場に供奉する僧。

(注5) 灌頂を受けた僧。師たる高德の僧。

史料E

弘仁の帝皇、給ふに東寺を以てす。歡喜に勝へず秘密の道場と成せり。……去んじ弘仁十四年正月十九日、東寺を以て永く少僧に給はり預けらる。勅使は藤原良房公卿なり。勅書、別に在り。

問 題 IV

享保期において、米および諸色（米以外の諸商品）の物価はどのような状況が続いていたか、また、その状況により旗本・御家人が経済的に困窮するのはなぜか。そして、幕府は元文金銀の発行によって、旗本・御家人の経済状況を改善するために、どのようなしくみで物価調整することをねらったか。次の（１）・（２）の文章と史料を読んだ上で、280字以内で説明しなさい。解答は記述式解答用紙の所定の欄に書きなさい。

なお、史料の原文は、適宜改めてある。

- （１） 町奉行大岡忠相は、金銀相場が銀高になったとき、両替商を通じて銀安への誘導をしばしば試みたが、期待どおりの結果にならないことがあった。たとえば、享保３（1718）年の銀高の際には、より銀安の相場で取引するよう両替商に申し渡したが、両替商はそれを聞き入れなかった。また、享保８（1723）年の銀高の際にも、銀の相場価格を引き下げよう両替商に強く申し付けたが、両替商から「この銀高は相場のなりゆきで仕方のないものである」という趣旨の返答があり、銀の相場価格は大きくは下がらなかった。
- （２） 將軍徳川吉宗は、町奉行大岡忠相らの提案を受けて、元文元（1736）年、元文金銀を発行した。元文金銀は、それ以前に通用していた正徳・享保金銀と比べて品位が引き下げられたが、とりわけ元文銀は元文金よりも大幅に品位が引き下げられた。これらの新旧金銀の引き替えにあたっては、旧金100両を新金165両と交換するというように、金銀いずれについても大幅な割増で新貨幣に交換された。また、元文金銀の鑄造高は、元禄から享保の期間に発行されたいずれの金銀よりも多かった。

史料

元禄以来宝永に至り、金銀位下り其上多品にして、民の騒動となるに依て、正徳四年に其品を改められ、今の如く古慶長金銀同位に命ぜられ、市民一統感服し今に至つて事なし、然る所享保十三年の頃より、諸国米穀豊熟し、次第に今の如く米充満し、価も至て下落に及び、諸人の迷惑になる、全く諸国より出る米多き故とは云ひながら、一つには只今通用の金銀位宜しきにより、当時の米の位と相当せず、……此の文金銀（注）、元禄以来正徳迄の金銀位の宜しき、全く其中庸を得たり、公私共に便にして、万代不究の善政なるものなり、これ前に云、両替の者より訴出し米金、俱に位相応するによるか、……。

（草間直方『三貨図彙』より抜粋）

（注）「文金銀」とは元文金銀のこと。